



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月28日

上場会社名 株式会社メルコホールディングス  
 コード番号 6676 URL <https://melco-hd.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧 寛之  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 後藤 宏聡  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 03-4213-1122

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	96,008	10.0	6,854	87.4	7,155	66.1	5,138	51.2
2020年3月期第3四半期	87,253	5.0	3,658	28.6	4,309	23.2	3,399	12.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,494百万円 (66.7%) 2020年3月期第3四半期 3,297百万円 ( 7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	309.01	
2020年3月期第3四半期	183.36	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	81,921	51,163	62.4	3,161.27
2020年3月期	78,870	48,260	61.2	2,887.36

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 51,144百万円 2020年3月期 48,241百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	8.8	7,800	88.5	8,200	66.8	5,400	72.0	327.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	22,237,873 株	2020年3月期	22,237,873 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,059,516 株	2020年3月期	5,530,065 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	16,630,168 株	2020年3月期3Q	18,539,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し経済活動は極めて厳しい環境で推移しました。足元では更なる感染拡大も懸念されており、先行きは依然として不透明な状態が続いております。

当社グループに関係するデジタル家電業界は、個人向け市場においては、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛及びテレワークの拡大により、パソコン周辺機器が需要増となりました。法人向け市場においては、企業の設備投資姿勢が慎重化し市場は縮小しました。一方、生めん業界では、家庭用チルド麺・冷凍麺市場は夏の天候不順の影響を受けたものの、外出自粛に伴う家庭内食機会の増加や消費者の手作り志向の高まりもあり拡大しました。しかしながら、業務用冷凍麺市場は、消費者の外食自粛、テレワークの定着等の影響を受け縮小しました。

こうした状況下で、IT関連事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る政府方針に全面的に協力する基本指針を策定し、全社的にテレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を継続し、安定した商品供給と主力商品の積極的な販売活動に努めました。また、食品事業においても、感染防止対策を徹底の上、家庭用の需要増加に対する商品の安定供給と、コロナ禍で高まった消費者の健康志向に対応した商品や家庭用市場において特に拡大している生ラーメン・焼そばなどの販売拡大に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高960億8百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益68億54百万円(同87.4%増)、経常利益71億55百万円(同66.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益51億38百万円(同51.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### IT関連事業

主力とするパソコン周辺機器市場においては、引き続きコロナ禍によるテレワーク・巣ごもり娯楽・遠隔学習により個人需要が拡大し、文部科学省GIGAスクール構想においても小中学校へのWi-Fi※1関連商品の導入が促進されたものの、価格競争の激化により非常に厳しい収益環境となりました。また、賃貸集合住宅向けWi-Fiインターネットサービス「アパートWi-Fi」も対面による営業活動の自粛を継続したため新規導入戸数は減少しました。海外市場においては、コロナ禍により短期的な市場回復が見込めないため欧州地域からの全面的な事業撤退を進めております。

一方、グループ会社が国内代理店である高性能空気清浄機「Airdog」やAMD社製CPU「RYZEN」※2の販売は好調で大きく利益貢献し、代理店ビジネスの拡大を図ることができました。「バッファロー正規データ復旧サービス」においても感染防止対策のためWebによる受付を活用し受付件数が累計3万4千件を超えて順調に推移いたしました。

その結果、売上高704億94百万円(前年同期比21.2%増)、セグメント利益51億65百万円(同164.0%増)となりました。

#### 食品事業

販売面では、家庭用は家庭内食機会の増加により3食入り商品や「もみ打ち」・「鉄板麺」・健康価値を包括した「健美麺」などのブランド商品が拡大しましたが、主力商品の「流水麺」の縮小や不採算商品の見直しにより売上は減少しました。業務用も外食自粛や外食店の休業、営業時間の短縮等の影響を受け売上は減少となりました。利益面では、広告販促費をはじめとするあらゆる経費の削減や生産工場での効率化・ロス削減を徹底し、利益の確保に努めました。

その結果、売上高249億2百万円(前年同期比10.4%減)、セグメント利益24億68百万円(同19.6%増)となりました。

#### 金融事業

難しい運用環境が続き、売上高6億9百万円(前年同期比53.2%減)、セグメント利益13百万円(同97.1%減)となりました。

※1: Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

※2: AMD、Ryzen及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は819億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億50百万円増加しました。流動資産は636億31百万円となり、29億33百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加95億76百万円、受取手形及び売掛金の増加63億37百万円、有価証券の減少139億13百万円によるものです。固定資産は182億90百万円となり、1億17百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の増加5億88百万円、有形固定資産の減少6億22百万円によるものです。

負債合計は307億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円増加しました。流動負債は262億7百万円となり、7億99百万円増加しました。これは主に、未払法人税等の増加13億56百万円、未払費用の増加5億31百万円、支払手形及び買掛金の減少8億38百万円、賞与引当金の減少3億99百万円によるものです。固定負債は45億49百万円となり、6億51百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少6億74百万円によるものです。

純資産合計は511億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億2百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益51億38百万円の獲得、その他有価証券評価差額金の増加3億49百万円、自己株式の増加15億89百万円、配当金の支払額10億2百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は連結業績予想について、2018年4月に食品事業が加わったこと、M&A及び代理店ビジネスの拡充による不確定要素が多く合理的な予測が困難であったため2018年3月期から公表を控えておりましたが、グループ経営が安定してきており見通しの精度が向上してきたため2021年3月期の連結業績予想を公表いたします。

依然として新型コロナウイルス感染症拡大の継続が懸念されており、今後も外出自粛及びテレワークの拡大が続くものと予測しております。こうした状況下で当社グループは、IT関連事業においては、コロナ禍によるテレワーク需要に応えるべく、安定した商品供給と主力商品の積極的な販売活動に努めてまいります。一方、食品事業においては、コロナ禍で高まった消費者の健康志向に対応した商品や家庭用市場において特に拡大している生ラーメン・焼そばなどの販売拡大に注力いたします。

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	125,000	7,800	8,200	5,400	327.80
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	114,888	4,137	4,914	3,139	173.61

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,545	20,121
受取手形及び売掛金	13,868	20,205
有価証券	20,600	6,687
商品及び製品	9,414	10,397
原材料及び貯蔵品	4,465	4,041
その他	1,812	2,186
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	60,697	63,631
固定資産		
有形固定資産	12,452	11,830
無形固定資産	981	1,004
投資その他の資産		
投資有価証券	2,951	3,540
その他	1,808	1,937
貸倒引当金	△22	△21
投資その他の資産合計	4,738	5,455
固定資産合計	18,173	18,290
資産合計	78,870	81,921
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,298	13,460
電子記録債務	393	408
1年内返済予定の長期借入金	899	899
未払法人税等	483	1,840
未払費用	1,834	2,366
未払金	2,892	2,936
前受収益	2,861	2,907
賞与引当金	399	—
役員賞与引当金	15	28
製品保証引当金	83	87
その他	1,245	1,272
流動負債合計	25,408	26,207
固定負債		
長期借入金	1,860	1,186
退職給付に係る負債	2,138	2,209
役員退職慰労引当金	287	203
リサイクル費用引当金	145	144
その他	768	805
固定負債合計	5,201	4,549
負債合計	30,609	30,757

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,404	4,404
利益剰余金	59,495	63,631
自己株式	△16,192	△17,782
株主資本合計	48,706	51,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55	405
繰延ヘッジ損益	10	△31
為替換算調整勘定	△239	△217
退職給付に係る調整累計額	△291	△265
その他の包括利益累計額合計	△465	△109
新株予約権	19	19
純資産合計	48,260	51,163
負債純資産合計	78,870	81,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	87,253	96,008
売上原価	65,584	70,496
売上総利益	21,669	25,511
販売費及び一般管理費	18,010	18,656
営業利益	3,658	6,854
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	520	209
持分法による投資利益	—	16
受取ロイヤリティー	150	—
その他	125	112
営業外収益合計	796	337
営業外費用		
支払利息	12	10
為替差損	61	3
持分法による投資損失	21	—
支払手数料	4	4
その他	46	18
営業外費用合計	145	36
経常利益	4,309	7,155
特別利益		
投資有価証券売却益	127	—
負ののれん発生益	145	—
関係会社清算益	64	—
事業譲渡益	148	—
補助金収入	105	—
特別利益合計	591	—
特別損失		
固定資産除却損	60	64
段階取得に係る差損	143	—
その他	1	—
特別損失合計	206	64
税金等調整前四半期純利益	4,694	7,091
法人税、住民税及び事業税	949	2,286
法人税等調整額	346	△334
法人税等合計	1,295	1,952
四半期純利益	3,399	5,138
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,399	5,138



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,399	5,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	349
繰延ヘッジ損益	11	△41
為替換算調整勘定	△75	22
退職給付に係る調整額	38	25
その他の包括利益合計	△102	356
四半期包括利益	3,297	5,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,297	5,494

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月28日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式529,300株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,589百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が17,782百万円となっております。

(追加情報)

当社の連結子会社であるシマダヤ株式会社、シマダヤ東北株式会社及びシマダヤ関東株式会社の一部工場は、当第3四半期連結会計期間において賃金規程の改定を行い、6月1日から11月30日まで及び12月1日から5月31日までとしていた賞与支給対象期間を4月1日から9月30日及び10月1日から3月31日までに変更いたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が56百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ184百万円減少しております。

なお、未払賞与302百万円は未払費用に含めて計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	IT関連	食品	金融	計		
売上高						
外部顧客への売上高	58,159	27,790	1,302	87,252	0	87,253
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	1,683	1,683
計	58,159	27,790	1,302	87,252	1,684	88,937
セグメント損益	1,956	2,063	473	4,493	489	4,983

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,493
「その他」の区分の利益	489
セグメント間取引消去	△1,325
四半期連結損益計算書の営業利益	3,658

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	IT関連	食品	金融	計		
売上高						
外部顧客への売上高	70,494	24,902	609	96,007	0	96,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	1,904	1,904
計	70,495	24,902	609	96,007	1,905	97,912
セグメント損益	5,165	2,468	13	7,648	610	8,258

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,648
「その他」の区分の利益	610
セグメント間取引消去	△1,404
四半期連結損益計算書の営業利益	6,854